

ローカル P F I の推進について

令和 5 年 6 月 6 日



内閣府 民間資金等活用事業推進室

PPP/PFI推進アクションプラン(令和5年改定版)のポイント

- PPP/PFI 推進アクションプラン（令和4年改定版）に掲げる、10年間で事業規模30兆円、5年間で重点分野の事業件数70件という目標の達成に向け、各種施策を推進中。
- 施策の進捗状況、政府の施策動向等を踏まえ、[PFIの質と量の両面からの充実を図る](#)ため、基本的な考え方等は維持しつつ、以下の柱でアクションプランを改定した。

（令和5年6月2日 PFI 推進会議（全閣僚）決定）

事業件数10年ターゲットの設定

新分野の開拓

PPP/PFI手法の進化・多様化

ローカルPFIの推進

[地域社会・地域経済への貢献](#)に焦点を当てた
[PPP/PFI（ローカルPFI）の推進](#)を図る。

ローカルPFIの主な特長

- ① **地域企業**の参画、取引拡大、雇用機会
- ② **地域産材**の活用（資材、食材等）
- ③ **地域人材**の育成（PFI経験等）

➤ **地域企業の参画促進について**

地域企業、とりわけ中小企業の参画が促進されるよう、民間事業者の募集時の基本的な考え方の一つとして、落札時の評価において、地域企業の参画の有無、地域企業への業務発注、地域経済への貢献等を取り入れるといった工夫が想定される旨を追記。

（PFIプロセスガイドライン改正

令和5年6月2日 PFI 推進会議決定）

ローカルPFIの枠組み

ローカルPFIとは

ローカルPFI※は、PFI事業の推進（案件形成、事業者選定、契約履行等の一連の過程）を通じ、**地域経済・社会により多くのメリットをもたらすことを志向**するコンセプト。

財政負担軽減（VFM）に加え、自治体・民間の創意工夫による多様な効果に焦点。

※ローカルPFIにはPPP（広義の官民連携）を含む。

地域課題の解決

PFIによる地域課題を解決し地域の発展に効果のある指標を設定し、定量・定性的に評価

地域経営の視点

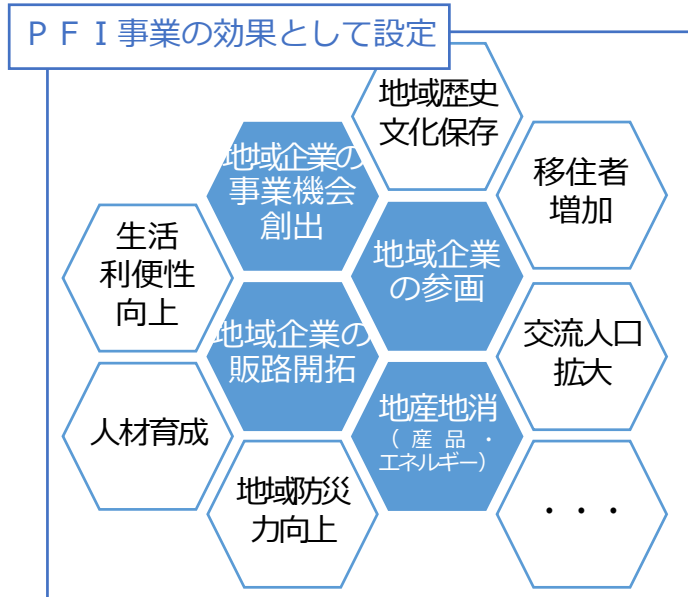
施設や分野を横断して課題解決に取り組むための、新たな官民連携手法の検討を推進

公共空間の活用

PFI事業を実施することにより、公共施設や余剰地を活用した取組を支援

ローカルPFIのイメージ

地域課題を元にコアとなる効果を設定するとともに、事業化アイデアの深掘りにより、副次的効果のイメージを固めることでPFI事業の多様な効果を発揮



ローカルPFIの推進方策

地域の関係者連携

地域の行政、商工会議所、地域金融、企業等の関係者が集う地域プラットフォームで官民対話を行い、案件形成を促進

自治体支援コンテンツ (内閣府)

地域プラットフォームの組成・運営支援

導入可能性調査支援※1

専門家派遣

ガイドラインや事例集の作成・周知※2

※1 ローカルPFIの検討を一部要件化

※2 地域企業の参画を促す工夫を明確化

ローカルPFIと捉えられる事例

道の駅 (静岡県函南町)

かんなみ

地域課題

人口4万人弱の函南町では、2014年にインターチェンジが開通し、地域活性化への貢献が期待される一方で、観光客が町を素通りする可能性を問題視。

PFI導入の効果

歳出削減 契約時 約8.9% (契約金額 約24億円)

利用者数 当初想定 69万人/年
→実績 164万人/年 (H30)

にぎわい創出 県外の利用者数割合が高い
(県外45%、県内44%、町内11%)

地域経済活性化 **地域企業が代表企業となり地域ネットワーク活用**
町内事業所16者、個人46人が農産品を出荷

地域雇用創出 90人弱の雇用機会を創出
道の駅の雇用の約4割が町在住者

経済波及効果 隣接地に明太子メーカーのテーマパークが整備されたことにより、集客面での相乗効果が生じ、**利用者・売上げが4~5割増加**



外景



アイドルグループ「ミミ」
(本道の駅を拠点に活動)

歴史的建造物 (町家群) (岡山県津山市)

つやま

地域課題

歴史的建造物の保存と地域の魅力発信のため、苅田家から寄付された町家群を観光拠点となる宿泊施設に改修することを決定したが、事業の採算性の向上が必要。

PFI導入の効果

歳出削減 当初想定 指定管理料支出300万円/年
→実績 運営権対価収入450万円/年
(計7,400万円)

広報 ホテルとしてミシュランガイド4つ星を獲得

地域経済活性化 **地域企業が代表企業**となり、
周辺飲食店と連携し、宿泊者に対して朝食を提供

地域文化保存 重要伝統的建造物群保存地区に選定し、250年前に建設された**歴史的建築物を保存・活用**

経済波及効果 1泊2万円以上の高級ホテルとして運営し、高所得者層が地域に流入



外景



内装

ローカルPFIと捉えられる事例

給食センター（北海道伊達市^{だて}）

地域課題

旧施設整備から40年以上が経過し老朽化が著しい。
また、学校給食衛生管理基準を満たしておらず、安心・安全な給食を提供する観点から早急な建て替えが必要。

PFI導入の効果

歳出削減 特定事業選定時 約7.6%（契約金額 約47億円）

供給数 整備前 2施設で3,100食
→整備後 1施設で3,300食

市内食料P **給食センター内にレストラン**を開設し、**地域食材**を活用した給食・軽食を提供

アセット有効活用 市の中心部である立地を生かし、会議室を用意し、食事付会議プランを提供

地域経済活性化 **地域企業が代表企業**となり事業者グループを組成

災害対応 最大9,900食/日の炊き出しを3日間提供可能



スポーツ公園（神奈川県茅ヶ崎市^{ちがさき}）

地域課題

国による新湘南国道の延伸や相模川の築堤事業の推進に協力するため、相模川河畔スポーツ公園を移転する必要が生じた。
新公園には、市民サービスの向上や周辺の活性化を期待。

PFI導入の効果

歳出削減 契約時 約6.5%（契約金額 約75億円）

スポーツ拠点 地域スポーツチームのホーム施設として運営
スポーツ教室を実施し、地域スポーツコミュニティの形成促進

交通混雑軽減 公園と茅ヶ崎駅や周辺駐車場間の送迎バスを運行

にぎわい創出 レストラン、スタジオ、サイクルステーション等、クラブハウスを中心に**地域の交流拠点を配置**

地域経済活性化 **地域企業が代表企業**となり事業者グループを組成

地域雇用創出 地元の人材活用など、地元の雇用機会の創出



ローカルPFIと捉えられる事例

子育て支援住宅 かのや (鹿児島県鹿屋市)

地域課題

昭和30年代に建設された公営住宅団地について、建替事業を行おうとするものの、財政難により凍結。
ファミリー世帯向けの住宅の市場供給量が少ない。

PFI導入の効果

歳出削減 事業収入（交付金、家賃収入、民間収益施設）により、**自治体負担は実質ゼロ**（契約金額 約10億円）

子育て支援 子育て世帯に配慮した住戸プランや性能
余剰地を活用し、民間収益施設として**アフター
スクールや親子で楽しめるママカフェ**を整備

広報 自治体負担がゼロになるスキームと併せて評価され「住生活月間国土交通大臣表彰」を受賞

にぎわい創出 子育て世帯を中心とする多世代交流の拠点

地域経済活性化 **地域企業が代表企業**となり、協力企業として市内企業30社以上を活用



体育館 おびひろ (北海道帯広市)

地域課題

旧施設整備から 40 年以上が経過し老朽化が著しい。
また、利用者層やニーズの変化に対応することでスポーツによる交流の拠点を整備する必要が発生。

PFI導入の効果

歳出削減 契約時 約2.5%（契約金額 約103億円）

利用者数 当初想定 16.5万人/年
→実績 25.8万人/年 (H29)

にぎわい創出 地域企業と連携した食育の機会を提供
キッズコーナーを整備し、利用者層が拡大

スポーツ拠点 **地域スポーツチームのサテライト施設**として
ホームゲームを開催
民間スポーツクラブ・地域スポーツチームによる
運動プログラム提供

地域経済活性化 **地域企業が代表企業**となり事業者グループを組成
集客力の高さが評価され750万円/年・20年間の
ネーミングライツ収入

災害対応 避難誘導時の動線を複数準備

